

## 目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 特集 市議会9月定例会
- 4 特集 令和4年度決算報告
- 8 特集11月は児童虐待防止月間です
- 9 令和6年度放課後児童室入室児童を募集します
- 10 行政手続きのオンライン化を進めています  
冬に起きやすい火災と予防対策
- 11 11月はコミュニティづくり月間  
第47回富士山すその花火まつり開催
- 12 市民芸術祭 ～しなやかに思いを伝えよう～  
放課後子ども教室「すそのん寺子屋」開催中
- 13 第24回しずおか市町対抗駅伝競走大会  
第67回裾野市駅伝大会の参加者を募集
- 14 フォトグラフ
- 16 11月はねんきん月間  
11月・12月は税の滞納整理強化月間
- 17 インフォメーション
- 21 図書館だより
- 22 救急協力医
- 24 裾野っ子・市長戦略最前線

## 表紙 Front cover



### 富士山に吠えろ！音楽で繋げ！

9月30日(土)、10月1日(日)の2日間、スノーパークイエティで初開催した、SUSONO HOE-ROCK2023。音楽をキーワードに、全国の大使が裾野市に集結しました。



## 第19回ACジャパン広告学生賞で 優秀賞を受賞

室伏 琉多さん (公文名4・23歳)



令和5年3月、室伏さんは第19回ACジャパン広告学生賞で優秀賞を受賞しました。応募された660作品の中から選ばれたこの作品は環境問題をテーマにしています。「コロナ禍でマスクのゴミが海へ漂着することが

増えていると知りました。街中で捨てられたゴミは雨や風で川に運ばれ、やがて海に流れ着きます。海に捨てられるものばかりが海洋ゴミではないということ表現するため、身近なゴミのイメージとしてマスクを選びました。シンプルな画面構成を意識し、自然のものである海と人工物であるマスクという対比を強調しました」と室伏さんは作品に込めた想いを話しました。

小さい頃から、絵を描くことが好きだったという室伏さん。美術の面白さは正解がないところだと話してくれました。「例えば公共問題というテーマで作品を作った場合、一人一人が異なった作品になります。正解がなく自由に自分を表現することが面白いです」と。

「大学では、自分を表現する手段としてデザインと向き合うことが中心でした。これからは、多くの人の考えに触れ、様々な人と一緒にものを作り上げていくような活動をしたいです」と今後の抱負を語ってくれました。



susonobito No.54